

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きを短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

ラグビーワールドカップ 2015 が開催されました

9月18日から10月31日にかけて、イングランドにてラグビーワールドカップ2015が開催されました。開催地では、試合に加え、パブリックビューイングや関連イベントが楽しめるファンゾーンが実施され、多くの市民や観光客で盛り上がりました。

次回2019年大会は日本で開催されることから、期間中、多くの自治体や関係者が日本から視察に訪れ、ロンドン事務所でも自治体の活動支援を行いました。また、国会議事堂近くに特設された「ジャパンパビリオン」では、開催都市のパネル展示やキャラクターが印刷されたグッズが配布され、2019年大会および開催都市のPRが行われました。



シドニー事務所

JETプログラム同窓会オセアニア会議、クライストチャーチで開催

10月16日から18日まで、オーストラリア5支部、ニュージーランド3支部のJETプログラム（外国青年招致事業）同窓会支部の代表が一堂に集まる会議が、ニュージーランドの南島にあるクライストチャーチで開催されました。

クライストチャーチは、2011年2月に発生したカンタベリー地震により甚大な被害がありましたが、順次施設の再築が進むなど、次第に復興が進みつつあります。

今年は「Staying Connected」をテーマに姉妹自治体を始めとする日本の関係機関との継続的な関係を築くための方策について、各支部からの現状を発表しながら、意見交換が活発に行われました。

また、クリアシドニー事務所からは、来年の同プログラム30周年に向けての動画コンテスト、JET経験者里帰り事業や帰国後のJET参加者への就職支援などについての案内および協力要請をしました。



JETプログラム事業部

JETプログラム意見交換会（少数参加国部会）を開催しました！

平成27年度は、43か国から約4,800人の外国青年をJETプログラムで日本に招致しています。JET参加者から率直な意見を聞き、自治体の国際化や外国語教育のさらなる充実を図るため、外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）部会に加え、今年度初めて少数参加国部会を開催しました。少数参加国出身者ならではの視点や経験に基づき、JETプログラムの多様性について考えるとともに、参加者同士のネットワークづくりや多言語による情報収集などのテーマについて活発な意見交換が行われました。



多文化共生部

「外国人コミュニティ全国会議」開催決定！！

各地域には特徴ある活動を積極的に行っている外国人コミュニティが多数存在します。全国からこのような外国人コミュニティが一堂に会して、活動内容を発表し、地域におけるコミュニティの役割・課題を話し合う全国会議を開催します。外国人コミュニティについて考える貴重な機会です。是非ご来場ください。

日時：平成27年12月12日（土）10：00～12：00（9：30開場）

場所：東京外国語大学府中キャンパス（東京都府中市朝日町3-11-1）

・西武多摩川線（JR中央線「武蔵境駅」にて乗換）多磨駅 徒歩5分

・京王電鉄 飛田給駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分 東京外国語大学前下車

参加コミュニティ：つばさ～日中ハーフ支援会（福島）、カワヤンP.W.C（神奈川）、NPO法人ブラジル友の会（岐阜）、

外国人女性の会パルヨン（京都）、熊本イスラミックセンター（熊本）

進行：時光氏（特活）多文化共生マネージャー全国協議会 事務局長）

主催：一般財団法人自治体国際化協会

共催：東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター

※申し込み方法など詳細については、クリアHPをご覧ください。http://www.clair.or.jp

※同日は、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター主催の「多文化社会実践研究・全国フォーラム（第9回）」も開催されます。興味がある方はこちらも是非ご参加ください。詳細は、東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターHPをご覧ください。





ニューヨーク事務所

JET プログラム同窓会アメリカ会議、 デトロイトで開催

9月24日から27日まで、JETプログラム（外国青年招致事業）同窓会アメリカ全19支部の代表者などが参加する会議がデトロイトで開催されました。クリアが今秋開催した里帰り事業の参加者によるプレゼンテーションが行われたほか、以前から議論が重ねられていたアメリカ全支部をとりまとめる全米組織の設立完了報告および今後の活動方針などについての意見交換が行われました。



北京事務所

日中韓3か国地方政府交流会議、 浙江省で開催

10月13日、中国浙江省義烏市で第17回日中韓3か国地方政府交流会議が開催されました。義烏市は面積約4.7平方キロメートル、店舗数7万の世界最大級の日用品取引市場を擁する経済都市。3か国の自治体関係者約400人が持続可能な都市間交流をテーマに、中小企業問題、文化観光交流などについて議論を深めました。



ソウル事務所

ソウル事務所職員による 日本の地域観光文化講座を実施！

韓国天安市にある白石大学の授業の一環として、日本の地域観光や文化に関する連続講義を実施中。10月29日は茨城県派遣職員が講師となり、「にじいろ いばらき」と題して、袋田の滝や筑波山など7か所の観光名所を色に例えて紹介しました。「偕楽園の満開の梅林をぜひ見てみたい」などの韓国人の学生が茨城県に関心を持ってくれました。



パリ事務所

マルセイユ秋祭りに出展しました！

10月3日・4日に南仏マルセイユで開催された、日本を紹介する「秋祭り」に初めて出展しました。この秋祭りは在マルセイユ日本国総領事館とマルセイユ市が共催し、今回で4回目となります。

クリアパリ事務所はJNTOパリ事務所と協同し、自治体の観光パンフレットなどを用いて、来訪者に日本の各地域の魅力をPRしました。3日はあいにくの雨模様でしたが、快晴となった4日は大勢の人（主催者発表約7,000人）で賑わいました。



シンガポール事務所

国際会議でプレゼンテーション

9月5日にインドネシアで開催された国際団体UCLG ASPACの会議に出席し、各国の地方自治体の代表者に日本の地方自治体の政策についてプレゼンテーションしました。

会議では、「Good Governance」セッションにおいて、「民」主導のネットワークによってお祭りに再利用可能食器を導入しごみの減量に成功した京都府の事例を、「低炭素社会」セッションにおいて、電気消費量のピーク時に電気料金が上がる料金設定などを導入した北九州市の事例、およびごみの分別・3Rの推進・環境教育・ごみ焼却場の設置によりごみの減量に成功した東京都の事例を紹介しました。

UCLG ASPAC事務局からは、今後さらに日本の地方自治体の参加を希望する旨の意見がありました。



市民国際プラザ

日本最大級の国際協カイベント「グローバルフェスタ JAPAN 2015」に参加しました。

10月3日（土）、4日（日）にお台場で開催された日本最大級の国際協カイベント「グローバルフェスタ 2015」に参加しました。当協会が実施している、外国人住民が日本で生活するための情報を13言語で掲載したiOS/Androidアプリ「多言語生活情報 Japan Life Guide」や自治体国際協力促進事業（モデル事業）を紹介しました。当日は10万人を超える来場者に加え、NPO/NGO関係者、自治体関係者と意見交換させていただき当協会の事業を知ってもらう絶好の機会となりました。

市民国際プラザでは今後も、自治体とNPO/NGOの連携を促進してまいります！

多言語生活情報：<http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html>

自治体国際協力促進事業：<http://www.clair.or.jp/j/cooperation/model/index.html>

市民国際プラザ：<http://www.plaza-clair.jp/index.html>

